

令和7年度 第2回市政モニターアンケート
「ごみのポイ捨てに関する意識調査」報告書

令和8年2月

環境局家庭ごみ減量課

I 調査概要

1. 目的

仙台市では平成11年に「ごみの散乱のない快適なまちづくりに関する条例」を制定し、以降、市民の皆様や企業と連携し、市内の美化推進に取り組んできました。

市内のごみの散乱の状況をお伺いするとともに、ポイ捨てがされないまちづくりの参考とするため、ポイ捨ての意識調査を行います。また、活動しやすい美化活動のあり方を検討するため、美化活動への取り組み状況について調査を行いました。

2. 調査対象

令和7年度 市政モニター 399名

3. 調査時期

令和7年9月～10月

4. 調査実施方法

郵送配布・回収及びインターネットによる無記名式調査

5. 回収結果

有効回答数 356名（回収率 89.2%）

6. 集計結果の留意事項

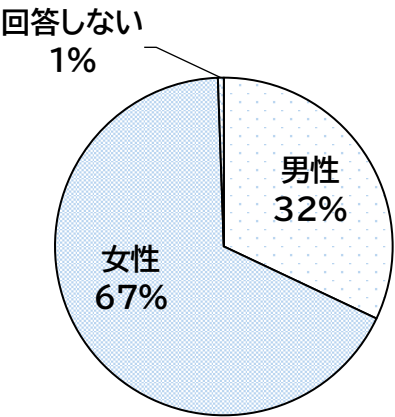
- ・四捨五入の関係から、割合の合計が100%にならないことがあります。
- ・複数の選択肢を選択する問の割合は、設問項目毎の回答数を有効回答者数で除したものととなっています。
- ・自由記述については、回答原文の一部を修正し、趣旨の近い内容を整理・統合したうえで、主なものを掲載しています。

7. 調査結果

あなた自身のことについておたずねします

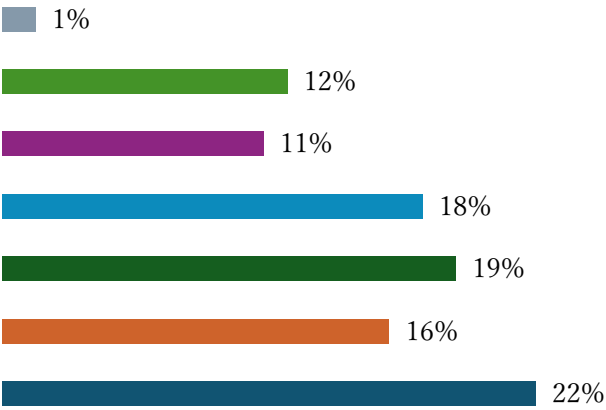
問1：あなたの性別を教えてください。(n=356)

選択肢	回答数	割合
男性	114	32%
女性	240	67%
回答しない	2	1%
計	356	



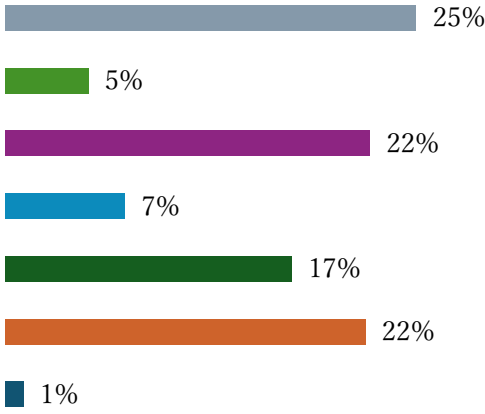
問2：あなたの年齢を教えてください。(n=356)

選択肢	回答数	割合
10代	5	1%
20代	43	12%
30代	39	11%
40代	63	18%
50代	68	19%
60代	58	16%
70代以上	80	22%
計	356	



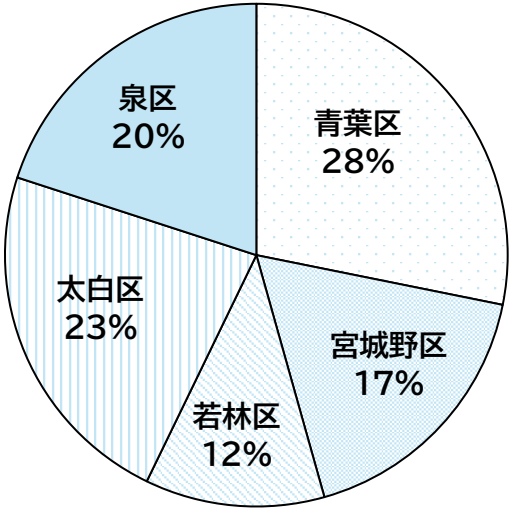
問 3：あなたの職業等を教えてください。(n=356)

選択肢	回答数	割合
会社員、団体職員等	89	25%
自営業(家族従業の方を含む)	18	5%
パート、アルバイト、非常勤等	79	22%
学生	26	7%
家事専業	62	17%
無職	78	22%
その他	4	1%
計	356	



問 4：あなたの居住区を教えてください。(n=355)

選択肢	回答数	割合
青葉区	100	28%
宮城野区	62	17%
若林区	41	12%
太白区	81	23%
泉区	71	20%
計	355	

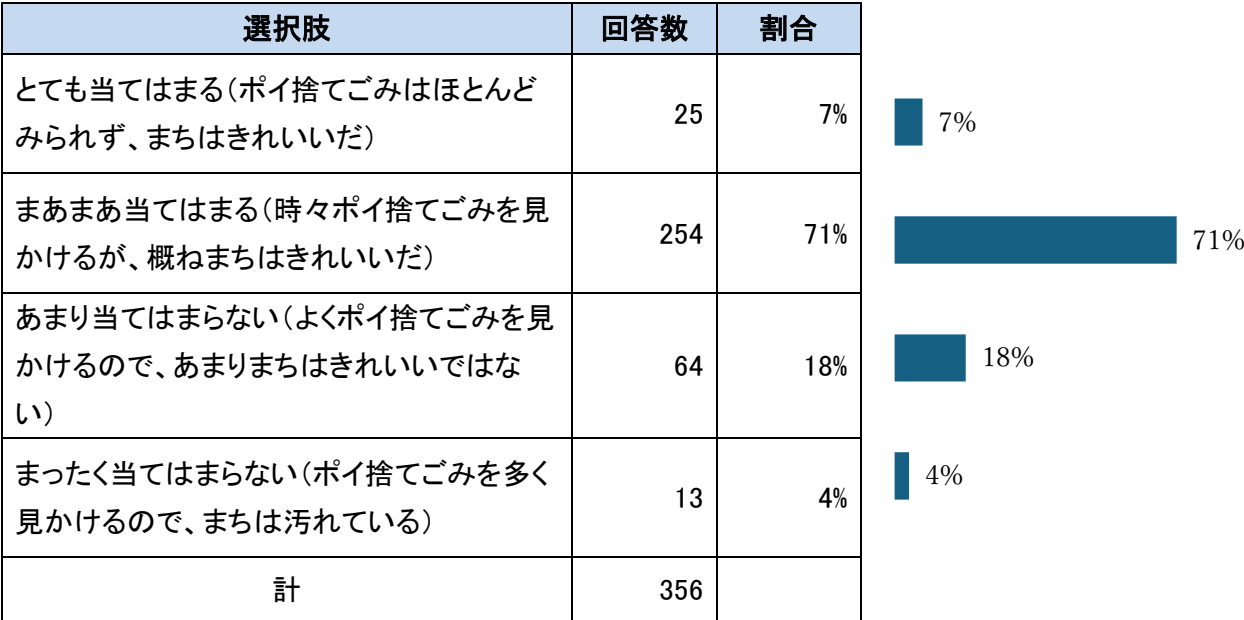


環境美化についておたずねします

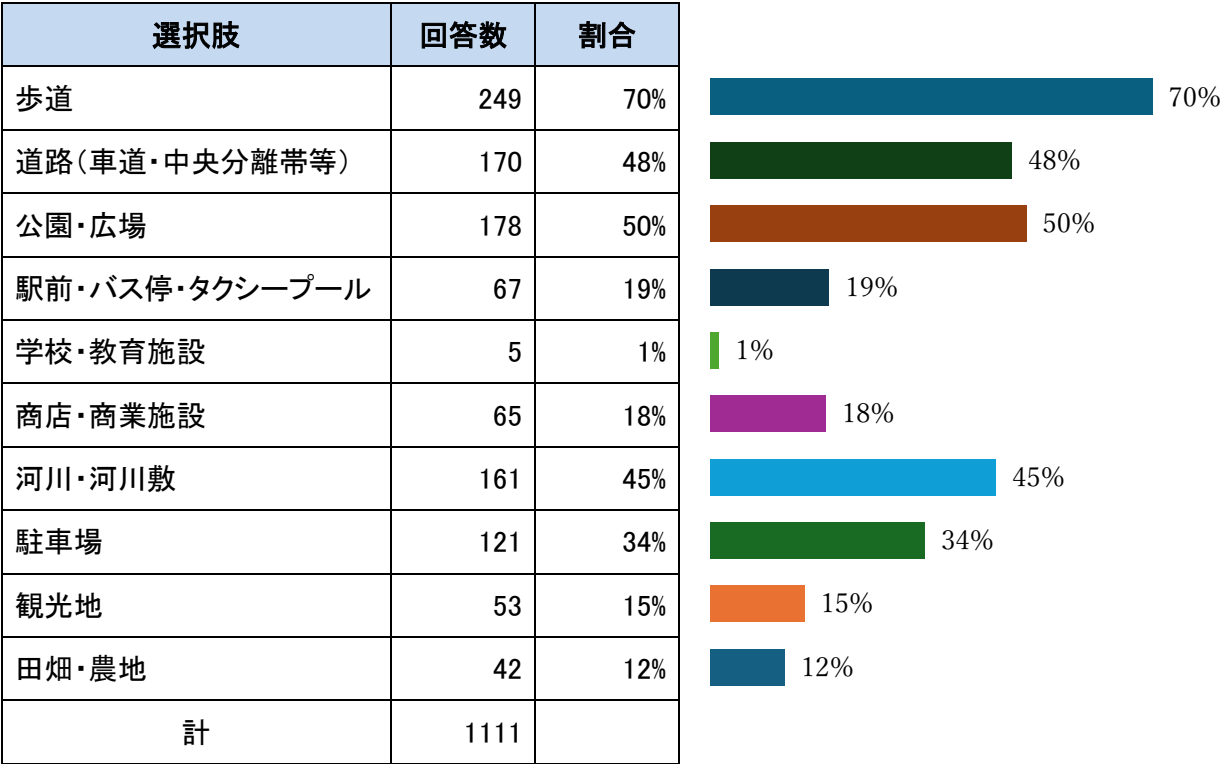
◆まちなかのポイ捨てごみの状況について

問5：仙台市は「ごみの散乱のないまち」にどれくらい当てはまると感じますか。

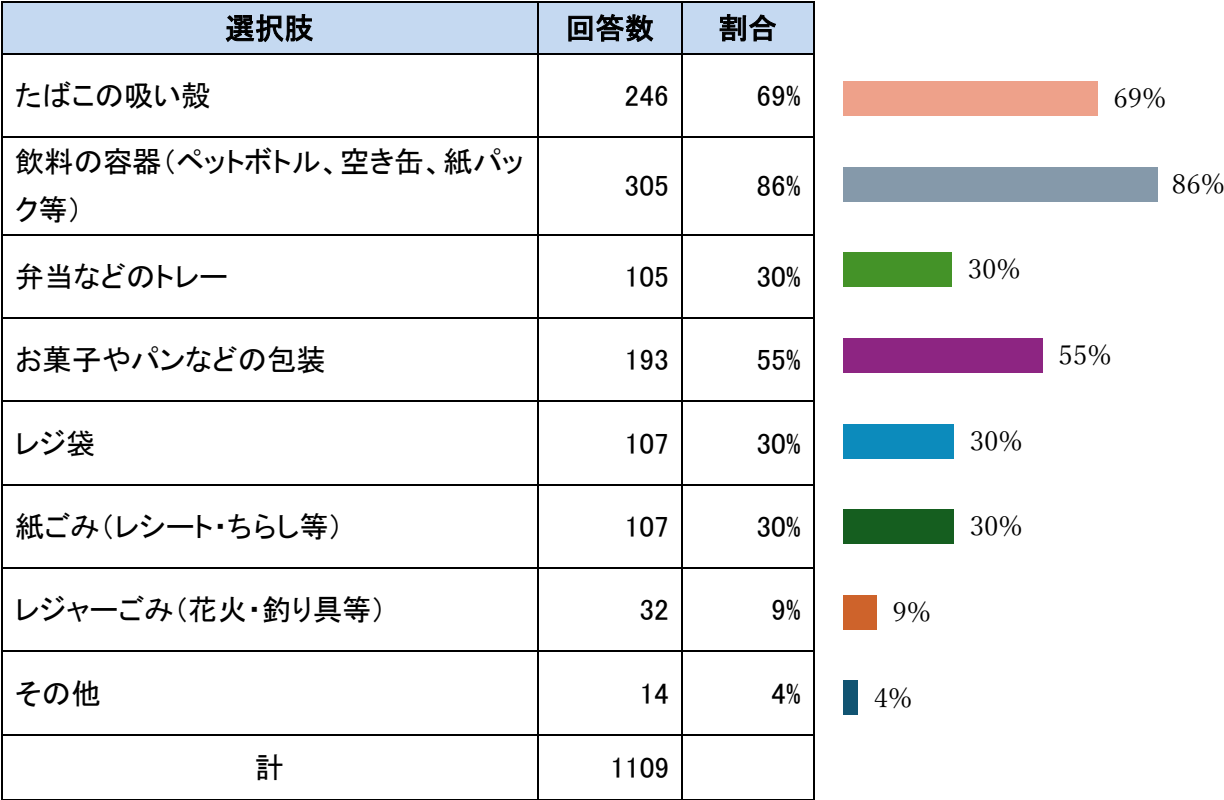
(n=356)



問6：どのような場所でよくポイ捨てごみを見かけますか。(n=356)



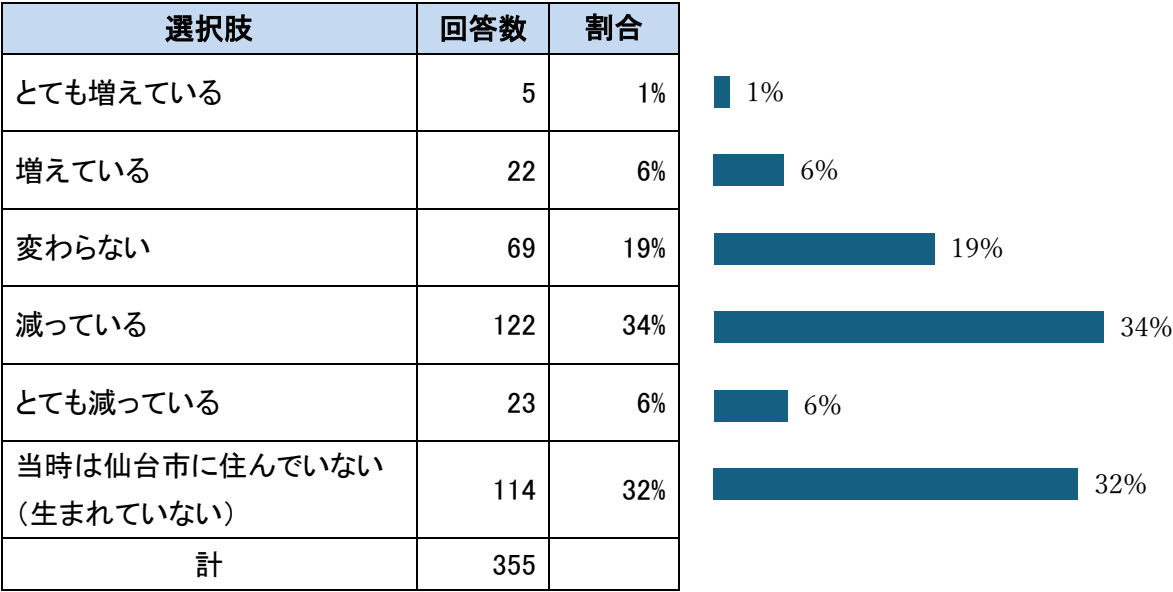
問7：どのようなごみがポイ捨てされているのをよく見かけますか。(n=354)



その他：

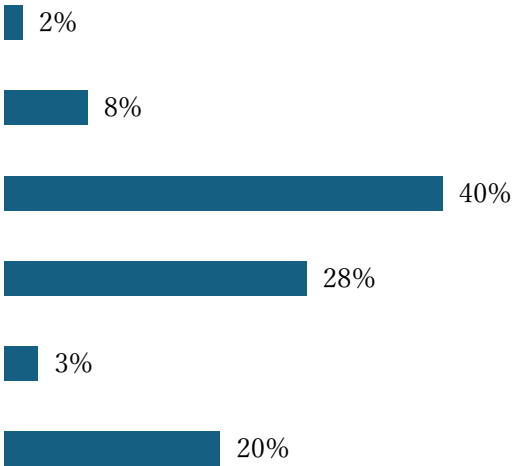
- ・ヘアピン ・マスク ・ティッシュペーパー ・避妊具 ・服、下着、靴下、靴など
- ・犬のフン ・壊れた傘

問8：「ごみの散乱のない快適なまちづくりに関する条例」が制定された30年前と比較し、ポイ捨てごみは増えていると感じますか。(n=355)



問 9：東日本大震災前（約 15 年前）と比較し、ポイ捨てごみは増えていると感じますか。（n=354）

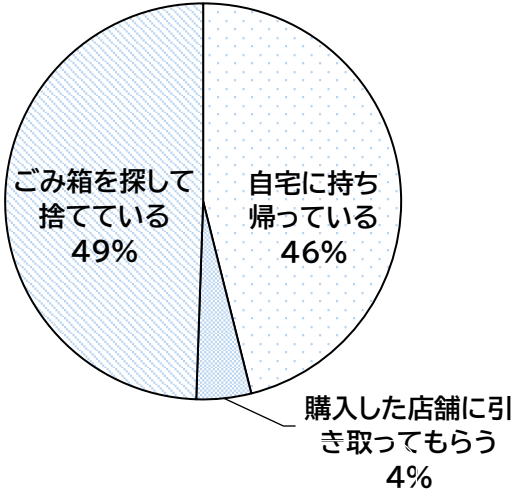
選択肢	回答数	割合
とても増えている	6	2%
増えている	27	8%
変わらない	142	40%
減っている	98	28%
とても減っている	11	3%
当時は仙台市に住んでいない(生まれていない)	70	20%
計	354	



◆ポイ捨て行動について

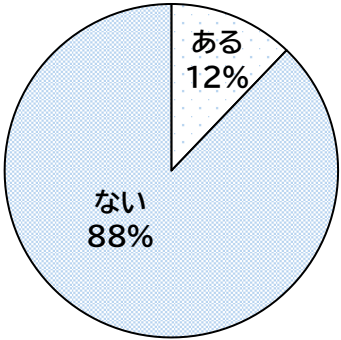
問 10：外出先でごみが出た際に、そのごみはどうしていますか。（n=356）

選択肢	回答数	割合
自宅に持ち帰っている	165	46%
購入した店舗に引き取ってもらう	16	4%
ごみ箱を探して捨てている	177	49%
ポイ捨てしている	0	0%
計	358	








問 11：過去にごみのポイ捨てをしたことがありますか。（n=354）

選択肢	回答数	割合
ある	43	12%
ない	311	88%
計	354	



◆問 11 で「1」を選択した方のみお答えください

問 11-2：ごみをポイ捨てしたのはなぜですか。(n=43)

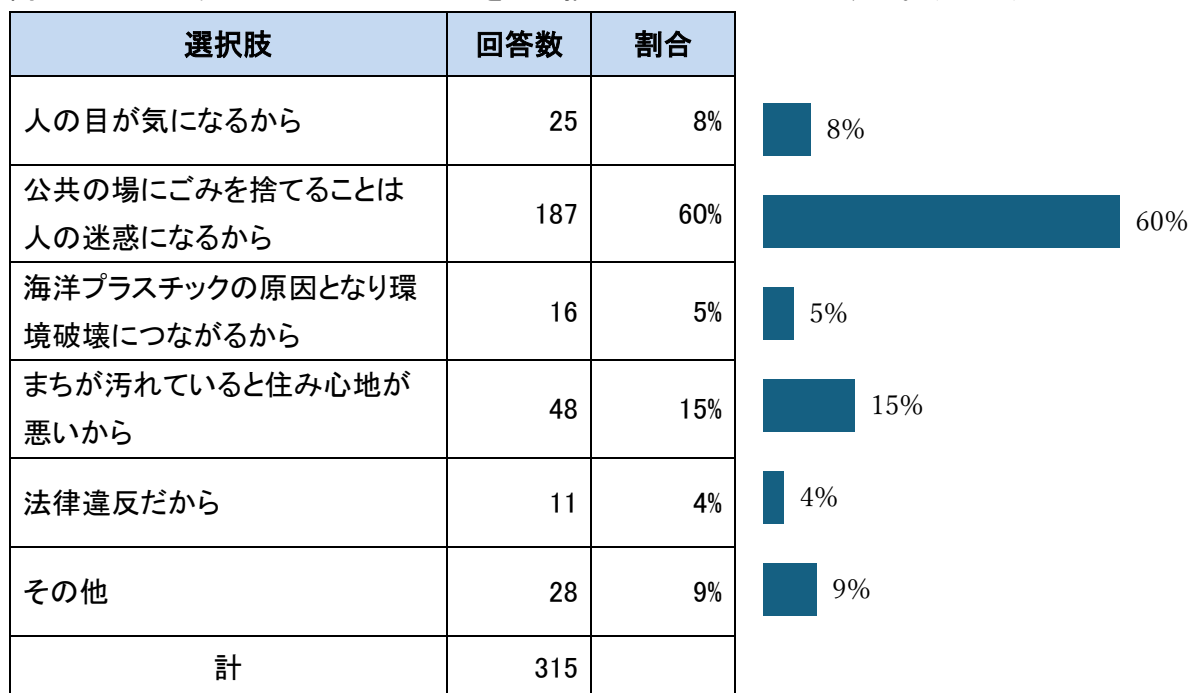
選択肢	回答数	割合	
ごみ箱や灰皿がなかった・探すのが面倒だったから	25	58%	 58%
すでにごみが捨てられている場所があり、置いておかまわないと思った	13	30%	 30%
家にごみを持ち帰りたくないから	4	9%	 9%
捨てても誰かが片付けてくれるから	0	0%	0%
捨てることに問題があると考えたことがない	2	5%	 5%
その他	8	19%	 19%
計	52		

その他：

- ・郵便局などにごみ箱が置かれなくなった
- ・落ちた食べ物は自然にかえる又は他の生き物のえさになると思った
- ・どうしようもなく腹が立ったことがあって、川に本を投げすてた。以降は反省してポイ捨てはしていない
- ・荷物がいっぱい、すぐに物を減らしたかった
- ・子供のころ買い食いがバレないようにポイ捨てしたが、結局拾いに行った
- ・かなり昔のこと。今は持ち帰っている
- ・学生の頃、悪気なくポイ捨てしたことがある。理由は覚えていない
- ・子供の好奇心

◆問 11 で「2」を選択した方のみお答えください

問 11-3：外出先でゴミが出ててもゴミをポイ捨てしないのはなぜですか。(n=311)

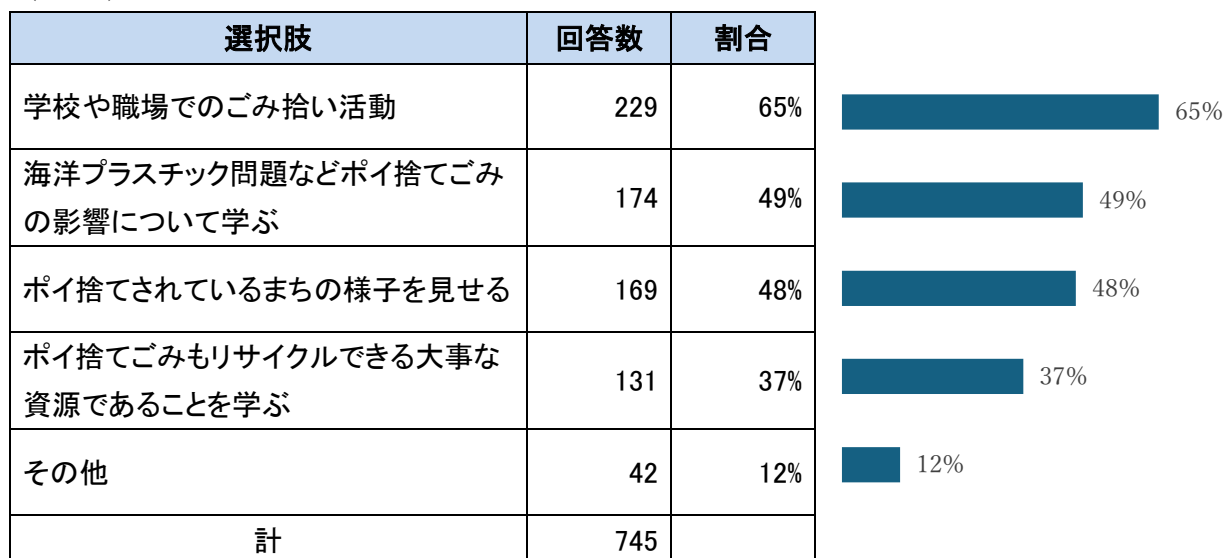


その他：

- ・汚い物を捨てる行為がよく分からない
- ・自分の良心
- ・ゴミを本来捨てる場所に捨てるのが当然のことだから
- ・自分がその行為をするのが嫌だから
- ・海外都市のきれいなところを見ているから
- ・自分の住んでいる街をいつまでもきれいにしたいから
- ・自分で出したゴミには、責任を持つため
- ・教育（学校・家庭）による道德感
- ・片付ける人に申し訳なく、ゴミが放置されているのを見た人がポイ捨てしていいと思う
ようになると、ポイ捨てが増えるから
- ・仙台で生まれ育って、大好きだから
- ・人としてあたりまえ

問 12：ポイ捨てをしない人づくりのためにどのような教育が効果的だと思いますか。

(n=354)



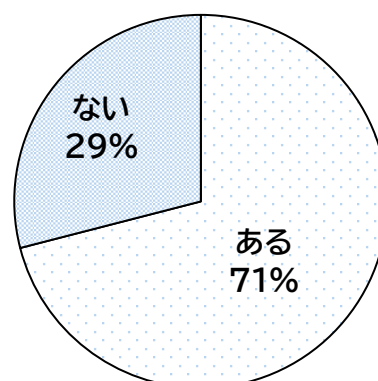
その他：

- ・ 外出先でゴミが捨てられないときの対処法を伝える
- ・ ポイ捨てしたゴミが誰に拾われ、拾われることがなかったゴミがその後どうなるのかを例として説明する(共生する生き物たちへの被害など)
- ・ ポイ捨てゴミのないまちの様子を見せる
- ・ 幼稚園、保育園、小学校、中学校、高校、大学、親、すべてにおいて、良心を自然と身につけられる教育
- ・ 根本的な心の教育、心の変化が必要。尊敬出来る人からの教育
- ・ 全市または区ごとにゴミ拾いのイベントをする
- ・ ポイ捨てをしないことを当たり前にする。ポイ捨てゴミは清掃員等がすぐにごみ拾いして、ゴミを放置しない。ポイ捨てゴミが放置されていると、ポイ捨てに対するハードルが下がってしまう
- ・ 罰金制度の導入
- ・ 自分の家の周りや玄関の前にポイ捨てされたらどう思うか、誰が片付けるのかなど自分に置き換えて考える(他人事でなくする)
- ・ ゴミ活ランキング等をつくる
- ・ 外国の事例を具体的に見せ、美化に取り組んでいる国での取り組み前後の違いや、まちが汚いことによって生まれる弊害を学ぶ

◆美化活動について

問 13： いままで美化活動（清掃活動）に参加したことはありますか。（n=355）

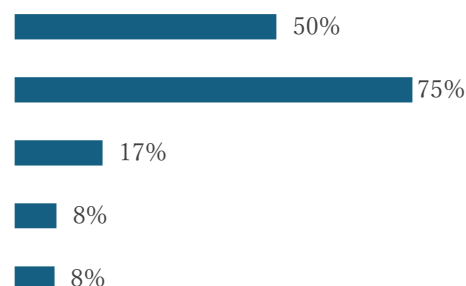
選択肢	回答数	割合
ある	252	71%
ない	103	29%
計	355	



◆問 13 で「1」を選択した方のみお答えください

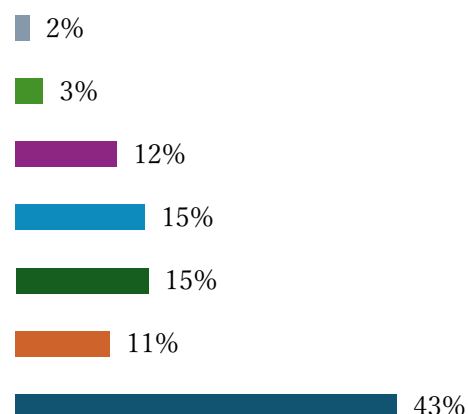
問 13-2 どのような団体が実施する美化活動に参加したことがありますか。（n=252）

選択肢	回答数	割合
職場や学校	125	50%
町内会・自治会等の地域団体	190	75%
地域のボランティア団体	42	17%
在仙プロスポーツ球団や民間団体	20	8%
個人的に美化活動している	19	8%
計	396	

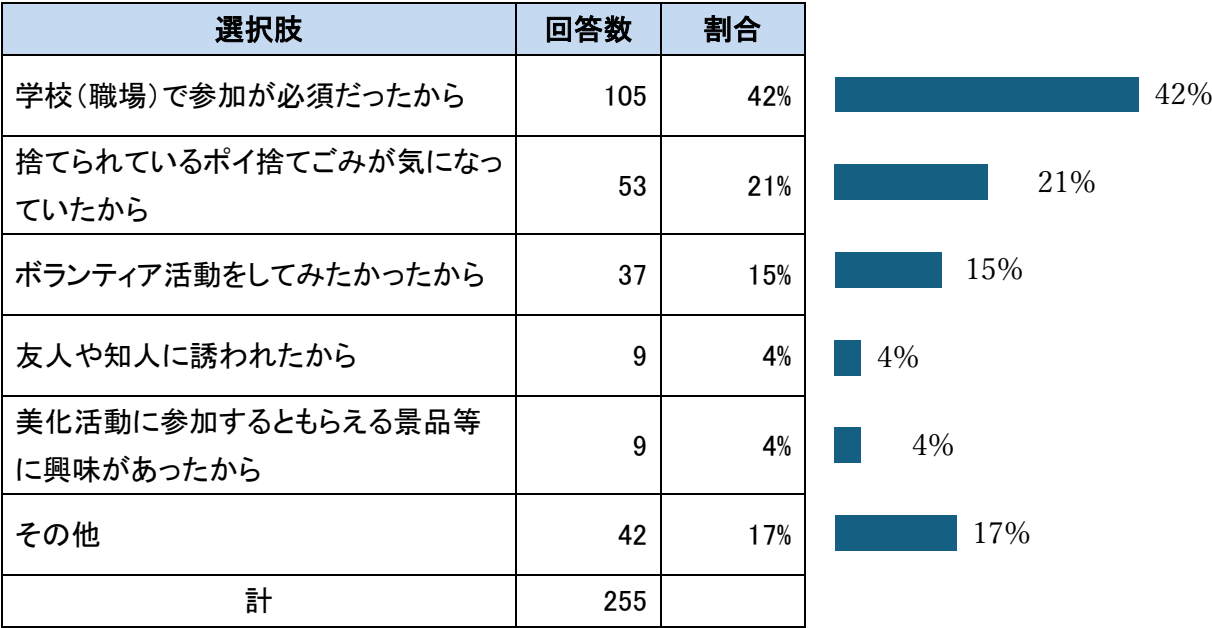


問 13-3 美化活動に参加している場合、どの程度の頻度で参加していますか。（n=252）

選択肢	回答数	割合
毎日	4	2%
毎週	8	3%
毎月	29	12%
2～3 か月に 1 度	37	15%
半年に 1 度	38	15%
1 年に 1 度	27	11%
定期的には参加していない	109	43%
計	252	



問 13-4 美化活動に参加したきっかけ（するようになったきっかけ）は何でしたか。
(n=251)

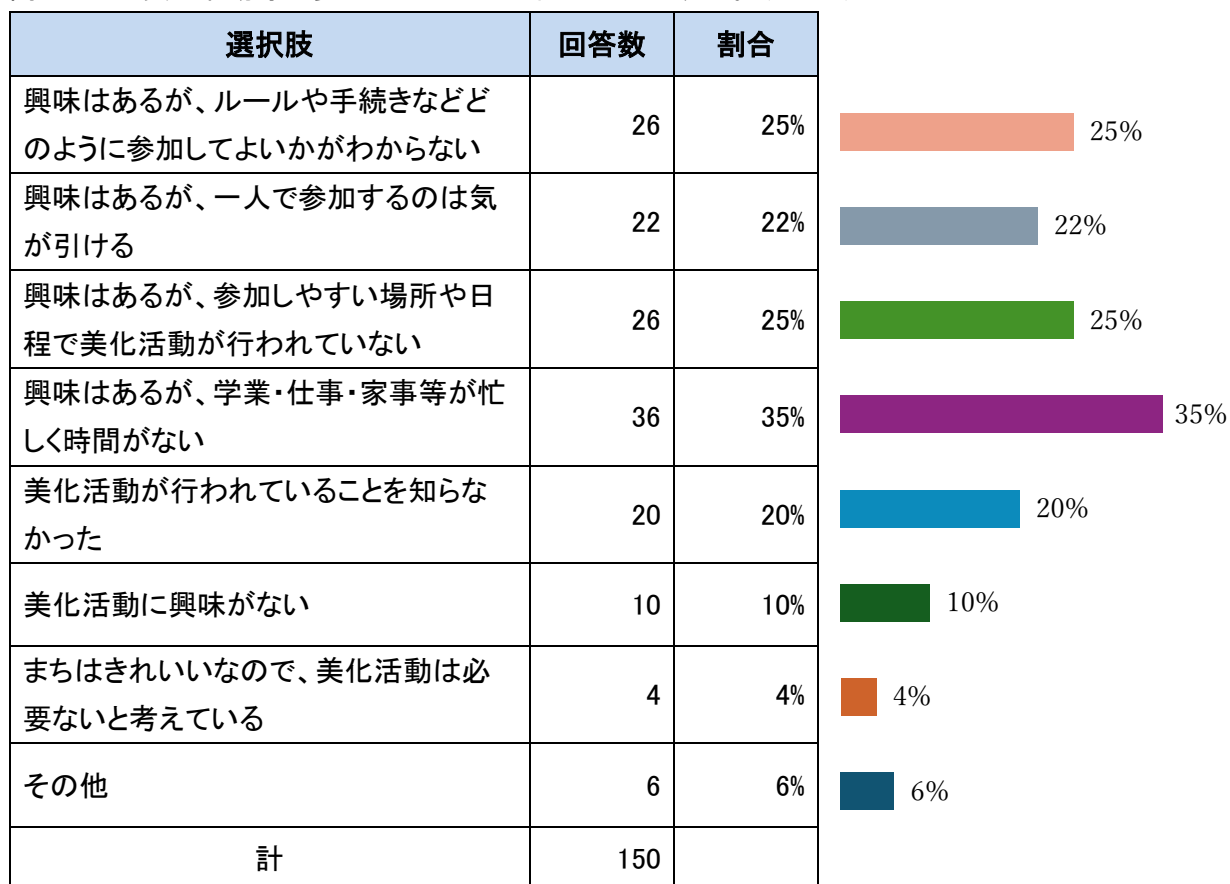


その他：

- ・町内会行事
- ・町内会の役員になったため
- ・地域の役に立とうと思った
- ・親の教育や学校教育
- ・こどもの意識付けにもなるため
- ・特に理由はない。予定がなければ参加する
- ・自分の住んでいる場所をきれいにしていきたいから
- ・公園の管理不行き届きがひどすぎる。また、市有地の管理がおざなりにされているため
- ・釣りをしており、汚れるのがいやなため

◆問 13 で「2」を選択した方のみお答えください

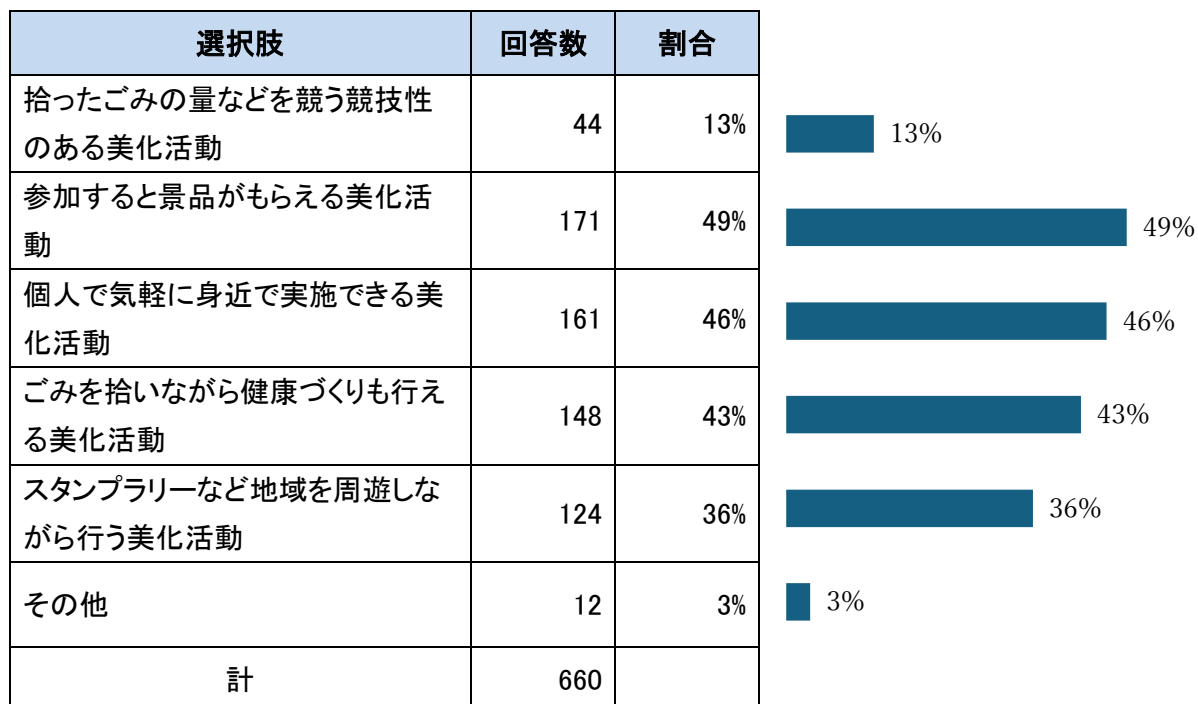
問 13-5 美化活動等に参加していない理由はなんですか。(n=102)



その他：

- ・特に理由はない。活動自体よく知らない
- ・ボランティアで参加はしたくない
- ・イベントが土日祝に行われており、サービス業を営んでいるため参加できる日程がない
- ・体力的に困難

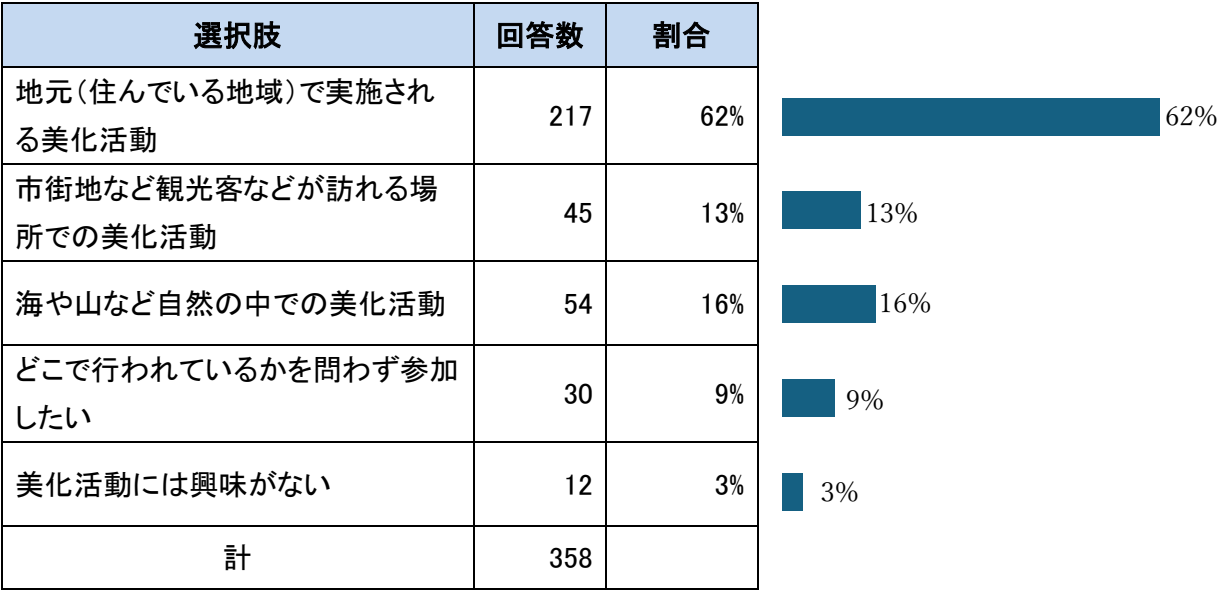
問 14 どのような美化活動であれば積極的に参加したいと思いますか。(n=348)



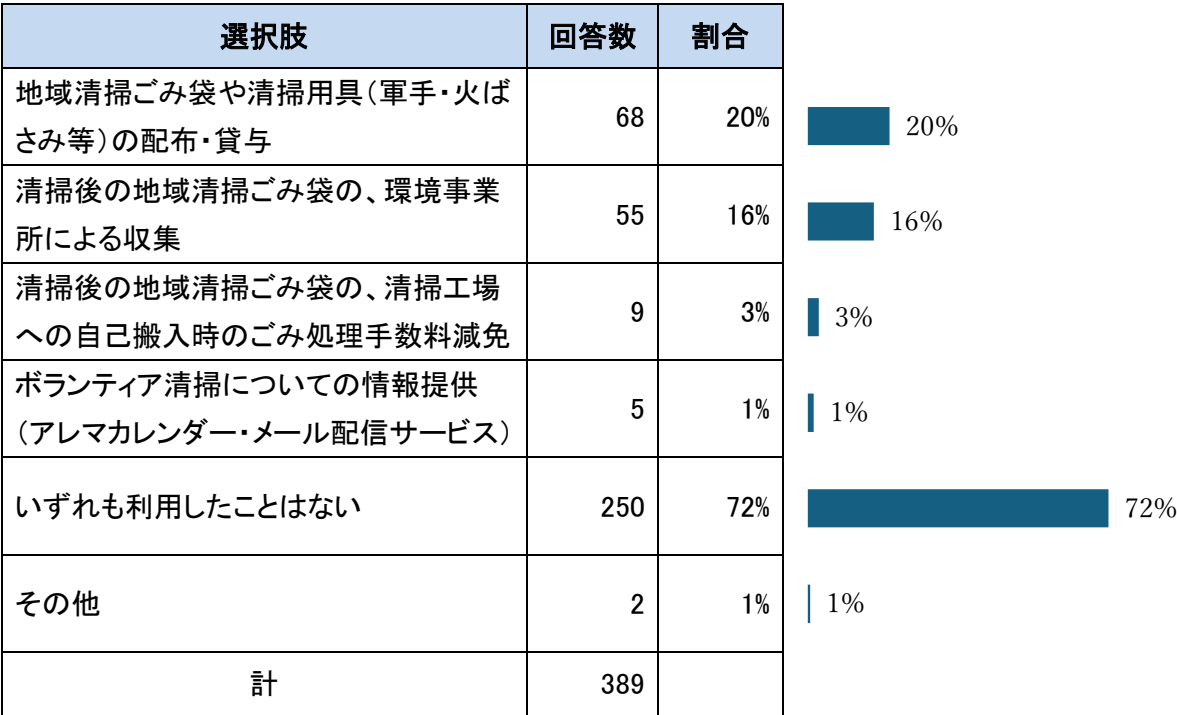
その他：

- ・積極的な参加は考えていない
- ・美化活動をすると心の中も美しくなる。小さな活動を自主的に行うのであれば参加しやすい。CM 等を流すといいのでは
- ・ビニールや手袋の無償提供
- ・ごみ 1 袋分で、市の指定ごみ袋と交換
- ・給与が発生するのであれば参加したい
- ・景品自体がごみになる可能性があるため、ポイントがもらえる活動
- ・自分の住んでいる地域で実施される活動
- ・平日に行われる美化活動

問 15 美化活動に参加する場合、どのエリアでの美化活動に参加したいと思いますか。
(n=348)



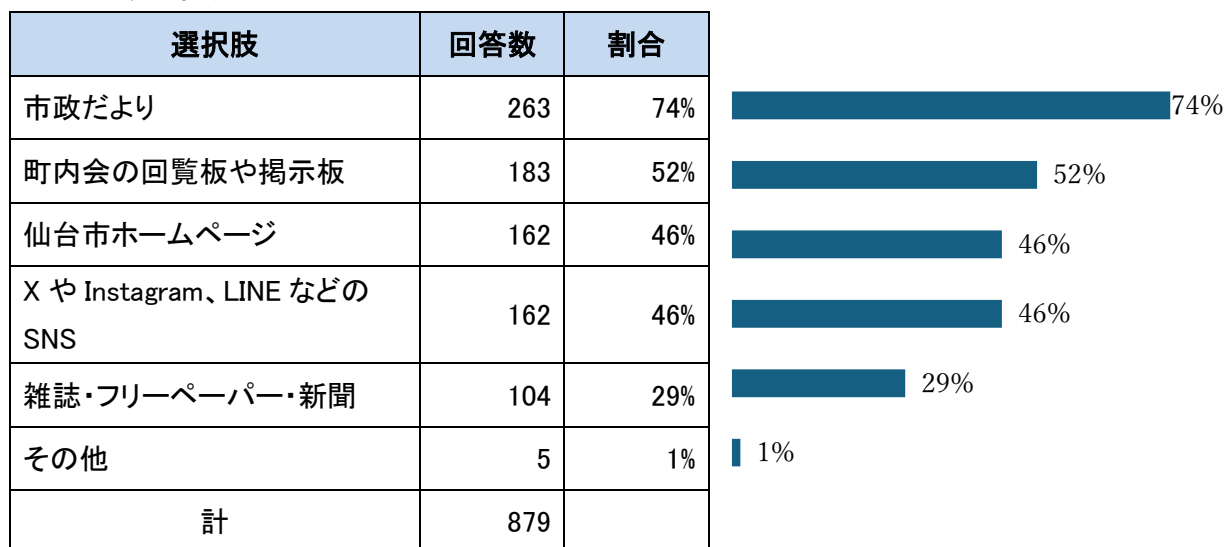
問 16 仙台市が実施しているボランティア清掃等の支援制度を利用したことがありますか。(n=348)



その他：

- ・広報、情報が少ない

問 17 市内で実施されている美化活動の情報を知るためには、どのような方法が効果的だと思いますか。(n=355)



その他：

- ・ マスメディア ・ 地下鉄のドア広告
- ・ テレビのニュースに取り上げてもらう
- ・ 地域限定のテレビ、ラジオ、YouTube

問 18 美化活動を活発にするためには、どのような取り組みが効果的だと思いますか。

【活動主体】

- ・ 子どもたちが町内の美化活動に参加できるような取り組みを実施する
- ・ 町内会、子ども会、学校、地域の事業所などが合同で美化活動を行う
- ・ 学校や職場、町内会が協力し、年 2 回程度の美化活動週間を設ける
- ・ 美化活動専属のボランティアチームを設立する
- ・ 個人でも参加しやすい美化活動を実施する
- ・ 地域コミュニティで定期的な清掃日を設定し、美化活動を積極的に行う
- ・ 小中学校で親子参加型の美化活動を推進する
- ・ 学生時代に部活動で地域清掃を行う取り組みを推進する
- ・ 学校行事として小中学生の清掃活動を推進する
- ・ 高齢者が参加しやすいよう、地域交流や運動を兼ねた美化活動を実施する
- ・ 学校や企業単位で活動に参加できる仕組みを整える
- ・ 飲食店周辺の清掃を店舗従業員が積極的に行うよう促す

【活動内容・実施時期等】

- ・ 他のイベントと組み合わせて美化活動を行う
- ・ 美化活動だけではなく、その後の活動も充実させる工夫をする

- ・参加者同士が交流できるイベントにする
- ・スタンプラリーを実施する
- ・公園などでイベント形式で行い、年齢問わず参加できるようにする
- ・職場単位で美化活動を実施できる仕組みを整え、勤務時間内の実施や参加企業へのインセンティブを付与する
- ・通りがかりや飛び入りでも参加できる、短時間で気軽な美化活動イベントを実施する
- ・参加に一定の義務を設ける
- ・散歩しながらごみ拾いをするなど、健康活動と組み合わせる
- ・アイドルや俳優を招き、ファンの参加を促す
- ・企業やスポーツチーム、アニメとコラボしたイベントを実施する
- ・若者が楽しめるイベント型の美化活動を行う
- ・解散時間を設定しつつ、出入り自由な活動にする
- ・市内各所でゲーム感覚のごみ拾いイベントを実施する
- ・町内会ごとに草花を植える活動を定期的に行う
- ・雑草の繁茂時期を考慮し、活動しやすい日時に設定する
- ・毎週決まった曜日に美化活動を行うなど、定期的に実施する
- ・集めたごみの重量を記録する
- ・数値目標を設定する
- ・イベント時に小さなごみ袋を配布し、協力者にステッカーやポイントを付与する
- ・小規模で頻度の高い活動にし、誰でも気軽に参加できるようにする
- ・美化活動スタッフを市内の施設に配置し、地域住民を巻き込みながら活動する

【周知・啓発】

- ・町内会ニュースや回覧板、掲示板で積極的に周知する
- ・活動日時や場所をわかりやすく周知する
- ・市民に美化活動の存在を積極的に PR する
- ・人目につく場所で定期的の実施し、清掃している状況を住民に認知させる
- ・美化活動に関する支援制度を周知する
- ・ポスター掲示や SNS、テレビ、市政だよりで情報発信する
- ・美化活動の状況を定期的に発信する
- ・イベント会場周辺で活動し、注目を集める
- ・マイバッグのようにごみ袋や軍手を持ち歩き、見つけたごみを拾う習慣を広める
- ・ごみを拾う行動を見た人が同じ行動をする輪を広げる
- ・大人への啓発を強化する
- ・コミュニティセンターやサークル団体に周知する
- ・美化活動への意識付けときっかけづくりを行う

- ・毎月〇日を美化活動の日として周知する
- ・花壇設置や街路樹の剪定などで景観を整え、ごみの散乱を防ぐ
- ・きれいなまちに住むことの価値、心地よさを広める
- ・美化活動の取り組み内容と成果を周知し、意識改革を促す
- ・美化活動のメリット・デメリットを把握する
- ・市長や有名人が美化活動に参加し、メディアで発信し、市民の意識に訴えかける
- ・市長や知事が動画で呼びかける
- ・外国人の評価を発信し、誇りを持たせる
- ・現状の問題をメディアで取り上げる
- ・ごみが散乱していると鳥獣被害も誘発することを市政だよりで発信する
- ・ポイ捨ては恥だと理解させる啓発活動を行う

【教育】

- ・中高生の時期から定期的に美化活動を行う習慣をつける
- ・幼少期からの学習や VR で海ごみ被害にあった海洋生物の疑似体験をするなど、自分に置き換えてごみ問題やまち美化に対する意識を教育する
- ・地域への愛着を育み、美化活動への自発的な参加を促す
- ・美化活動は"いい格好しい"ではなく、社会人として当然という価値観を教育する

【報酬】

- ・ごみ拾いでポイントが貯まる制度を導入する
- ・参加者にポイントを付与し、利用可能店舗を増やす
- ・参加者にプレゼントや景品を提供する
- ・有償ボランティア制度を導入する
- ・美化活動を行う子ども会に助成する
- ・美化活動参加者に飲食店の割引を行うなど、地元商店街の活性化と連携する

【罰則】

- ・ポイ捨てを罰則化する条例を制定する

【その他】

- ・常にきれいな状態を維持する
- ・エリアごとに参加を義務化する
- ・町内会を活用する
- ・ごみ箱を増設する
- ・商業施設でのごみ袋や清掃道具の配布や貸出、手続きの簡素化を行う

- ・地域団体や他自治体の取り組み状況を照会する
- ・自分のごみは持ち帰る習慣を徹底する
- ・ごみが全くない状態がどれだけ維持できるかを検証する
- ・市全体のごみ集積所のポイ捨てが目立っているのを、管理方法を改善する
- ・注意し合える雰囲気醸成する
- ・拾ったごみをすぐに回収できる仕組みを整える
- ・地域の店舗でのごみの引き取りを推奨する
- ・ごみ集積所を鍵付きにするなど、自治会への補助金で整備する
- ・町内会活動への行政支援を強化する
- ・市が業務委託で美化活動を実施する
- ・企業に美化活動を通達し、敷地内の清掃を促す
- ・モノを捨てない循環型社会の意識を高める取り組みを推進する
- ・自治体で植栽を強化し、空き地を減らす
- ・町内会幹部の美化活動実施への意識改革を促す
- ・ポイ捨て防止キャラクターを作成する
- ・活動の実施報告を発信する
- ・過剰包装や不要な買い物を減らす取り組みを進める
- ・仙台市の美化活動は盛んだと思うので、このまま現在の美化活動を継続する
- ・たばこ販売店や自動販売機、店舗でのポスター掲示や不要な包装の店舗回収を行う

問 19 美化活動をするときに、困ったことはありますか。

- ・拾ったごみの分別が、手間がかかって大変だった
- ・雑草などが生い茂っていると、ごみを拾いにくい
- ・ごみ拾い後、ごみを自宅までもっていくことへの不快感
- ・そもそもどこに申し込めば美化活動ができるのかわからない。どこで行われているかや参加の条件がわからない
- ・道具がない
- ・手軽に地域清掃ごみ袋が入手できず、入手することに負担がある
- ・ごみ袋がどこでもらえるのかわからない
- ・拾ったごみを収集してもごみ捨て場がないと困る
- ・高齢者が多く、町内の若い方々の参加がない
- ・空家、空地での美化活動が出来ないため、軽易な場合、活動出来る様にしてほしい
- ・町内会で実施する際に参加者が少ないため、広報の仕方を考えなくてはいけない
- ・関心がない人が多く、決まった人だけが活動している
- ・コロナ禍において、ごみを拾うのをためらうようになった
- ・マイバックの利用のため、ごみ拾いに使うコンビニ袋がない

- ・個人的に美化活動をすると、特別な事をしている人と思われがちで、とまどってしまう。美化活動がもっと一般的になればいい
- ・電池など処分に困るものを拾う
- ・不審物との判断がつかない。液体が入ったペットボトルは怖い。中身が見えない袋なども怖い
- ・悪天候時に濡れたごみや落ち葉が回収し辛い
- ・住んでいる地域内では、実施しにくい
- ・隣近所の付き合いが希薄になり声をかけにくい
- ・美化活動の周知及び参加者の取り纏めに手間取った
- ・ごみを拾っても拾っても、減らない
- ・参加する時間が合わない
- ・朝7時など集まりにくい時間に実施されている
- ・一人ではやる気が続かない
- ・地域清掃活動を行う場所の管轄部署の分かり辛さがある。美化活動窓口が一つあってもいい

◆その他

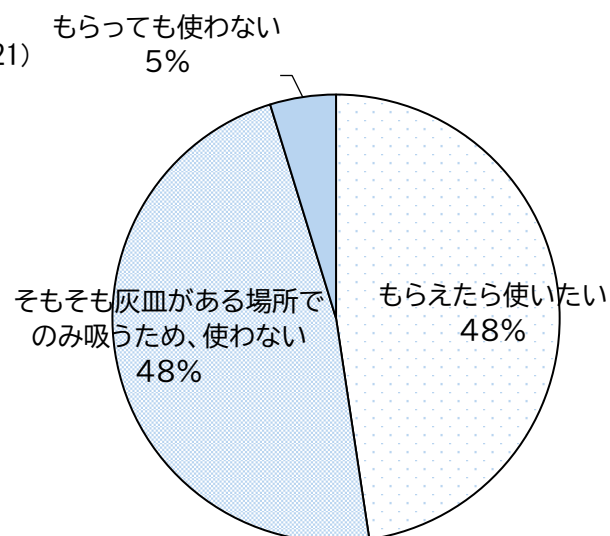
問 20：外出先で、たばこの吸い殻はどのように処分していますか。(n=343)

選択肢	回答数	割合
携帯灰皿を持ち歩き、使用している	13	4%
店頭や公園にある灰皿に捨てている	21	6%
ポイ捨てしている	0	0%
喫煙しない	316	92%
計	350	

◆問 20 で「2～3」を選択した方のみお答えください

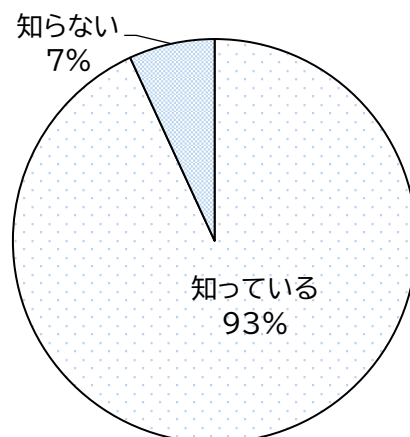
問 20-2 携帯灰皿を配布されたら使用しますか。(n=21)

選択肢	回答数	割合
もらえたら使いたい	10	48%
そもそも灰皿がある場所でのみ吸うため、使わない	10	48%
もらっても使わない	1	5%
計	21	



問 21 海洋プラスチック問題をご存じですか。(n=349)

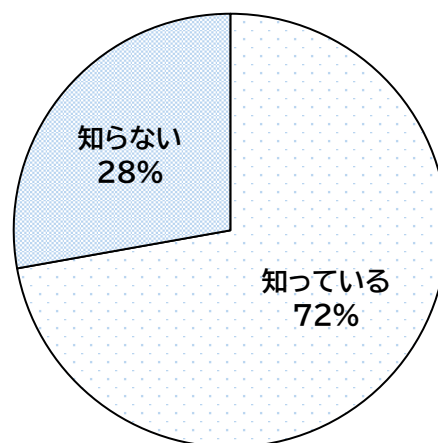
選択肢	回答数	割合
知っている	325	93%
知らない	24	7%
計	349	



◆問 21 で「1」を選択した方のみお答えください

問 21-2 海洋プラスチックの多くが、もとは市街地から流れ着いたポイ捨てごみだと言われていることをご存じでしたか。(n=320)

選択肢	回答数	割合
知っている	231	72%
知らない	89	28%
計	320	



問 22 仙台市のまちの美化について、ご意見やご要望がありましたら、自由にご記入ください。

【美化活動について】

- ・各地区で定期的に公園清掃をしているが、公園だけでなく周辺道路のごみ拾いも行ったほうがよい
- ・親子で参加しやすいイベントを企画してほしい
- ・美化活動を引き続き推進してほしい
- ・落葉時期の歩道清掃が不十分で滑りやすい。該当場所の企業に協力を求め、まちぐるみで一斉清掃デーを実施してほしい
- ・ごみ拾いと同様に除草にもボランティアや支援を設けてほしい
- ・仙台市が町内会へ補助金を出し、町内会が美化活動の参加者に景品等を提供することで地域への関心や住民同士のつながりを促進できるのではないか
- ・子どもにごみ拾いをさせる場合は、ごみの発生原因や影響を考える機会にしてほしい
- ・ボランティアや企業主体での美化活動を義務化する
- ・路地裏にはごみが捨てられているのをよく見る。感染が心配で拾うのに抵抗がある
- ・ウォーキングしながらごみ拾いをし、最後にイベントで飲食できる催し（事前登録制）があるといい
- ・町内会に美化活動の周知用掲示板や草花のプランターを設置してほしい
- ・清掃道具があればボランティアで対応したい
- ・個人で取り組むのは難しいので、企業や学校ごとに掃除の日を決めて取り組んではどうか
- ・毎月1回程度、まちなかクリーンデイを設け、市民の意識づけを促してほしい
- ・町内会など地域の美化活動の活性化を支援してほしい
- ・ポイントやスタンプラリーなどゲーム感覚で参加できる美化活動を実施してほしい

【周知・啓発について】

- ・ポイ捨て防止などの啓発を道路標示や市政だより等で継続し、意識向上を図ることが必要
- ・公共の場やバス停でのポスター掲示などの情報発信が必要。人気が少ないところには、防犯カメラやちらしで視覚的に意識に働きかける
- ・仙台市の Instagram や LINE で美化活動の情報を発信すると興味を持ちやすいのではないか
- ・こんなに仙台市が美化活動に取り組んでいるとは知らなかったため、もっと周知してほしい
- ・美化活動のお知らせを増やしてほしい

- ・海洋プラスチック問題の原因が市街地からのごみだとは知らなかったなので、この問題を市からも発信してほしい
- ・美化活動の様子を情報発信してほしい
- ・ごみの持ち帰り協力を呼びかけてほしい
- ・義務教育で美化意識を教え、高齢者には町内会の集会などで意義を伝えてほしい
- ・海外での日本人の美化活動の事例を紹介してほしい
- ・観光客や外国人観光客にも美化協力を依頼する必要がある
- ・個人で行う美化活動の申込方法を誰でもわかるように周知してほしい。市政だよりや公式 LINE を入れていても知らないことがたくさんあるように思う
- ・大人への美化教育を強化してほしい
- ・市政だよりで美化活動の事例を紹介し、行政パトロールを実施してほしい
- ・きれいな状態を維持し、ポイ捨て防止を促す
- ・外国人観光客や労働者へ理解を促すことが必要
- ・ごみが散乱して不快な写真や分別の方法、リサイクル方法を HP や動画で周知してほしい
- ・家庭ごみや資源ごみの出し方をまとめたしおりを全家庭に配布してほしい

【意識醸成について】

- ・外出先ではなるべくごみを出さず、出ても持ち帰る習慣をつけて行動すべき
- ・個人の美化意識が大切。街も自分の部屋のようにきれいにする気持ちを育てたい
- ・汚れている場所にはごみが重ねて捨てられやすい。きれいな場所には捨てにくいはず
- ・親子で散歩しながらごみ拾いをしている。小学生のこどもが公園で遊んでいたときにも、友達と一緒に拾って帰ってきた。ごみ拾いの経験があれば、ポイ捨てする側にはならないと思うので、学校でもごみ拾いの機会を作してほしい
- ・親が子どもにしっかり教えることが重要
- ・市内や区内のごみ分別場所をわかりやすい地図で周知してほしい
- ・各家庭で家の周辺を掃除し、歩道の雑草や枯れ葉をきれいにすることで、ポイ捨て防止につながる
- ・まちの美化はモラルの問題。未就学児から高校生まで学べる機会を作り、ごみ集積所の役割や働く人のことを学ぶことが必要
- ・朝に会社員らしき方々が掃除している姿が増えた。人の目につくことで考えるきっかけにつながる
- ・リサイクル促進や循環型社会の形成を徹底すれば、市民意識も向上する
- ・自分で出したごみは自分で処分する意識を持ってほしい
- ・家がきれいになると気持ちもすっきりするように、自分たちのまちも感謝の気持ちで、みんなで取り組んでいきたい

【地域清掃ごみ袋について】

- ・地域清掃用ごみ袋の配布を知らない人もいるため、広報を強化してほしい
- ・清掃用ごみ袋が仙台市指定で購入が必要なのは負担
- ・地域清掃用ごみ袋が弱く破けやすいため、もっと頑丈にしてほしい

【仙台市のまちについて】

- ・壁や電信柱の落書きやシールを除去し、仙台駅前の植栽を季節ごとに植え替え、公共施設周辺の雑草を刈って美化してほしい
- ・「杜の都」のイメージを大切にしてほしい
- ・仙台市内の街並みは大変きれいなので、この状態を維持してほしい
- ・「杜の都」と言われているとおり銀杏の紅葉は美しいが、駅のデッキにあるベンチを使用している人のマナー改善を望む
- ・道路や国道沿いの雑草を掃除してほしい
- ・観光スポットやマンション植え込みへのごみ捨てがあり、困っている
- ・空き店舗を減らし、活気あるまちにほしい
- ・中心部大通り沿いの営業ごみにカラスが集まるため、置き場所の改善とマナー向上を望む
- ・手間や費用の課題はあるが、花壇や歩道に彩りを持たせる取り組みを進めてほしい
- ・看板の乱立や路上喫煙を改善し、花壇を増設して花を増やしてほしい
- ・繁華街を除けばまち美化は進んでいるので、引き続き啓発・周知を続けてほしい
- ・仙台はきれいな街なので、一人ひとり積極的に美化活動に取り組みたい
- ・公園や河川の草刈り頻度を増やしてほしい
- ・繁華街のポイ捨て防止と店舗による清掃を徹底してほしい
- ・繁華街でも比較的きれいな街だと思う
- ・仙台市に引っ越してきて、美化清掃イベントを見たことがないので、情報をもっと周知してほしい

【動物のフンについて】

- ・犬のフン放置防止のため、看板設置や監視カメラ、罰則を設けるなど飼い主のマナー向上を望む
- ・犬や猫のフン問題について、市政だよりで飼い主に注意喚起してほしい
- ・野良猫への餌やりを条例で禁止してほしい
- ・青葉通りや定禅寺通りの鳥のフン対策として、木を減らすなど清潔さを保つ工夫をしてほしい

【その他】

- ・カラス被害防止と景観に配慮したごみ箱を街中に設置してほしい。ごみを拾っても持ち帰りづらい時もある
- ・ごみを捨てやすいように街中にごみ箱を多く置くか、ごみ箱を減らして持ち帰るしかない状況にするかのどちらがより良いのかわからない自販機周辺に一般ごみ回収容器を設置する義務を設けてほしい
- ・ごみ箱設置場所を開けた場所に限定し、不法投棄防止を図ってほしい
- ・シルバー人材を活用し、ごみ箱管理や見回りをしてもらう
- ・分煙を徹底し、ごみ箱や灰皿を適切に設置してほしい
- ・飲食店で不要なフタやストローを減らしてほしい
- ・高齢者の美化活動参加を促し、地域の力にしてほしい
- ・中心地でポイ捨て罰則を強化してほしい
- ・美化活動に積極的な企業や団体を表彰・広報する
- ・まち美化について前向きな意見は思い浮かばない。自身の出すごみや吸い殻を処分できない状況が残念
- ・仙台市に移住して4年、緑がきれいで住みやすく、ごみも少なく気に入っている。美化活動を応援していきたい
- ・ポイ捨てされる場所はごみ箱がないことが多い。名古屋のサービスエリアのように無料の小袋を設置し、持ち帰りできる仕組みの導入も必要かもしれない
- ・ポスティングちらしが増えており、ポスティングの制限などの対策が必要
- ・自分がポイ捨てしないことや、自分の周囲をきれいにするので精一杯で、他人のごみまで拾う余力がない
- ・早朝にごみ拾いをしているグループを見かける。感謝したい
- ・仙台を自分の家のように考え、家族でポイ捨て防止を話したい、海洋プラスチック問題は未来の環境にとっても重要
- ・花火などイベント会場にごみステーションがあるのは助かる。こどもにポイ捨てしない習慣をつけるのに良い
- ・イベントで飲食店ブースを出す場合、飲食店にごみ箱設置を義務付けてほしい
- ・他の政令市のように歩きたばこを禁止し、罰則を強化してほしい
- ・ごみ箱にアプリを連動させ、ポイント付与があるとよい
- ・自販機横のペットボトル回収箱をあふれる前に処理してほしい

- ・ 駅近くの敷地内でのポイ捨てや歩行喫煙防止策を強化してほしい
- ・ 公園のごみが多く、幼児を連れて行けない状況がある。ランニングしながらごみ拾いする人の行動に感銘を受けた、いつか美化活動に参加したい
- ・ 休日にごみ拾いをした際、ごみ収集場所の使用を認めてほしい
- ・ 仙台のまちが好きなので、自分にできることであれば美化活動に参加したい
- ・ ボランティア頼みではなく、予算を確保して取り組んでほしい
- ・ 市職員一人ひとりが美化意識を持ち、市民の手本となってほしい
- ・ マンションごみ置き場でのルール違反防止と転入者へのごみ出しルールの周知を強化してほしい
- ・ カラスによるごみ集積所の散乱防止策を全市的に講じてほしい